

# 学友会コーナー

生徒活動紹介のコーナーです



## 運動系クラブ

**陸上部**  
長野県高等学校総合体育大会  
男子走り幅跳び 第2位 窪田章吾 6m85  
男子三段跳び 第2位 窪田章吾 13m77  
男子4×100mリレー 第4位 42"82

**剣道部**  
長野県高等学校総合体育大会  
男子団体(吉池・堀江・小口・武井・金森・高橋・市川)  
予選リーグ 諏訪清陵 3-1 秀峰  
諏訪清陵 3-1 丸子修学館  
諏訪清陵 1-4 長野商業  
女子団体(後藤・山本・徳田・島山・武川)  
予選リーグ 諏訪清陵 0-5 屋代  
諏訪清陵 2-0 木曾青峰  
諏訪清陵 0-2 岩村田  
男子個人  
小口慎司(ベスト8)

**ソフトテニス部**  
第69回国体第一次長野県選考会  
男子 決勝 小池・花原組 2-4 長野俊英 小池・花原組は準優勝  
1回戦 小林・中谷組 0-4 長野俊英  
女子 1回戦 中山・高橋組 1-4 都市大塩尻  
長野県高等学校総合体育大会  
男子団体 1回戦 諏訪清陵 2-1 丸子修学館  
2回戦 諏訪清陵 1-2 長野東  
男子個人 準決勝 小池・花原組 0-4 上伊那農業  
小池・花原組は第3位、インターハイ出場

**男子硬式テニス部**  
長野県高等学校総合体育大会  
団体戦 1回戦 諏訪清陵 1-2 軽井沢  
個人 シングルス1回戦 成松雄一郎 0-6 松商学園  
ダブルス1回戦 成松・伊藤組 3-6 上田西  
加賀美・平島組 6-7 上田東

**女子硬式テニス部**  
長野県高等学校総合体育大会  
団体戦 1回戦 諏訪清陵 2-1 中野西  
2回戦準々決勝 諏訪清陵 1-2 松本第一  
3位決定トーナメント1回戦 諏訪清陵 1-2 上田西  
個人戦 シングルス 木下萌(清陵) 2-6 中村礼(須坂)  
征矢愛耶乃(清陵) 1-6 丸山紗也加(須坂)  
ダブルス 木下・征矢(清陵) 4-6 島田・丸山(中野西)

**男子バスケットボール部**  
長野県高等学校総合体育大会  
1回戦 諏訪清陵 51-71 長野俊英

**ハンドボール部**  
長野県高等学校総合体育大会  
2回戦 諏訪清陵 26-25 上田千曲  
準々決勝 諏訪清陵 19-32 上田

**卓球部**  
長野県高等学校総合体育大会  
女子シングルス1回戦 山下未玖 3-1 上田  
女子シングルス2回戦 山下未玖 0-3 松商学園

**サッカー部**  
長野県高等学校総合体育大会  
1回戦 諏訪清陵 2-0 屋代  
2回戦 諏訪清陵 0-2 松本ヶ丘 (ベスト16)

## SUWA SEIRYO GAKUYUKAI

**端艇部**  
長野県高等学校総合体育大会  
男子シングルスカル 第2位(伊東壮十郎)・第3位(名取穂高)  
→北信越大会出場  
男子ダブルスカル 第2位(千田・塩原) →北信越大会出場  
男子クオドルブル 第1位(荻須・小林・名取・入江・小川)  
→インターハイ出場  
女子シングルスカル 第1位(高橋沙恵) →インターハイ出場  
女子ダブルスカル 第1位(落合・青木) →インターハイ出場

**野球部**  
春季北信越地区高等学校野球長野県大会  
1回戦 諏訪清陵 3-4 上田西

## 北信越大会の結果

**陸上部**  
男子三段跳び 第4位 窪田章吾 14m18 インターハイ出場

**ソフトテニス部**  
男子個人 2回戦 小池・花原組 4-0 敦賀(福井)  
3回戦 小池・花原組 4-3 巻(新潟)  
4回戦 小池・花原組 2-4 燕中等(新潟)  
小池・花原組はベスト16

**端艇部**  
男子シングルスカル 第8位(伊藤壮十郎)  
男子ダブルスカル 第7位(千田・塩原)  
男子クオドルブル 第6位(荻須・小林・名取・入江・小川)  
女子シングルスカル 第2位(高橋沙恵)  
女子ダブルスカル 第7位(落合・青木)

## 文化系クラブ

**将棋部**  
第44回長野県高等学校将棋選手権大会  
個人戦A級第4位 安藤智仁

**かるた部**  
第21回長野県高等学校かるた大会兼  
第36回全国高等学校かるた選手権大会長野県予選  
団体戦  
リーグ戦 諏訪清陵 3-2 長野吉田  
諏訪清陵 3-2 飯田  
諏訪清陵 3-2 長野日大  
準決勝 諏訪清陵 3-2 飯山北  
決勝 諏訪清陵 1-4 長野  
個人戦  
上級の部 第5位 井澤優佳(3-2)  
中級の部 第2位 後町侑希(2-2)  
初級の部 第2位 橋爪朝子(1-1)

## クラブ紹介 33

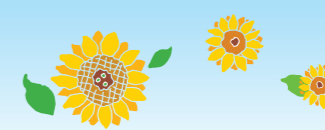
### 室内コンチェルト部

私たち室内コンチェルト部は、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロで弦楽四重奏を基本に演奏しています。弦楽と聞くと堅いイメージを抱きがちですが、実際は現代曲も演奏しますし、みんな仲良く楽しく活動しています。



## SUWA SEIRYO HIGH SCHOOL NEWS

# 清水ヶ丘便り



38

JULY 2014

## やりきった感

校長 石城 正志



端艇部は今年も2種目でインターハイに出場する。陸上部、ソフトテニス部からもインターハイへ出場する選手が出た。勉学に目を向けると、今春の大学入試結果は全体としては苦しいものだったが、合格体験記「自反」を読むと、個々には非常に頑張った生徒もいたことが分かる。

学校の状況を報告しようとする多くの場合こういうことになる。だがそれで本当に学校の実情を伝えていることになるのだろうか。最近そんなことに疑問を持ち始めている。例えばスポーツの全国大会で活躍し、難関大学にも合格者を出している高校があると。ところが、それぞれの目的に特化したスペシャリストがいて、成果はそういう生徒が分業で挙げたものだったとしたらどうだろう。本校が目指しているのは、そういうことではないように思う。一人の生徒が、勉強も、部活も、学友会も、何一つ犠牲にせず、全てにおいて高い成果を挙げる。それを理想の清陵生像として、多くの本校生は日々努力しているように見えるし、保護者も教員もまたそうなることを期待しているのではないかと。

しかし、現実にはそれは大変むずかしいことだ。何一つあきらめないから、多くの生徒が勉強、部活、学友会の狭間で葛藤することになる。何かを捨ててしまえば楽になると分かっている、それをしたくないから苦悩する。

ではバランスよくやればいいのか。しかし、たぶんそれも違う。バランスよくと言えば聞こえはいいが、多くの場合それは、全てをそこそこにやることでしかない。その結果として部活も勉強もそこそこ、合格した大学もそこそことなったとき、それで満足する生徒がいるのだろうか。

ではどうすればいいのか。先生方との懇談のなかで、ある先生が「やりきった感」という言葉を使っていた。「部活はほどほどにしておきなさい」と言われ、最後までやりきらずに部活動を止めた場合、そこには「やりきった感」が残らないだけでなく、ものすごく大きなストレスが残る。そのストレスは、結局は新たな目標である受験勉強に集中することの妨げとなり、思うように成績も伸びない。だとしたら「やりきった感」を感じるまでやらせるしかないのではないかと。大筋としては、たぶんそういうことなのだろうと私も思う。

その時大切なことは、どこまでやれば「やりきった」ことになるか決められるのは本人だけだということだ。もちろん保護者や教員はよかれと思って様々なアドバイスする。それが人情だし、経験豊かな大人としてそうしなければならないとも思う。しかし、どれだけ正しいアドバイスであったとしても、生徒自身が納得しない限り、そこに「やりきった感」は生まれえないし、結局は意味のある成果は生まれないということなのだろう。

もしかしたら、部活動の活躍や大学合格者数で学校の成果を計ることから脱却しなければならないのは私自身なのかもしれない。外部からそういう物差しで計られ、時には批判を受けることを覚悟のうえで、それに振り回されることなく、別の物差しを持つべきなのかもしれない。そして、その物差しは、たぶん「やりきった感」に基づくものなのだろう。生徒自身が決めた目標の実現をどれだけサポート出来たのか、出来ているのか。学校の現状を、そんな物差しで厳しく評価し直すべきなのかもしれない。

この問題について私はまだ思案中である。お考えのある方はぜひお聞かせいただきたい。

## 第64回清陵祭開催(7月4日~7月7日)

第64回清陵祭テーマ **ひょうせん 颯**  
受け継がれてきた伝統やこれからつくられる伝統を守り、育てていく清陵生が、日の出に明るく照らされ、その光を浴びて未来に向かって進んでいこう、という願いが込められています。



## これからの行事予定

8月	1日	中学生体験入学
9月	1日	端艇大会
	9日~12日	第2回定期考査
10月	26日	クラスマッチ
	18日 23日	授業公開・PTA講演会 湖周マラソン
11月	4日~7日	2年研修旅行
	17日~19日	第3回定期考査

発行・編集 長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校 教務係

〒392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL. 0266-52-0201 FAX. 0266-57-2426

http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs/ e-mail:seiryohs@nagano-c.ed.jp



# スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

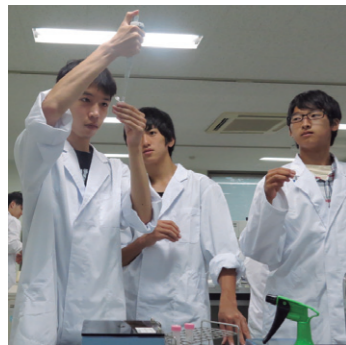
本校は平成14年度に文部科学省より初めてSSHの指定を受けた全国26校のうちの一校で、本年度で指定13年目(第三期5年目)となります。本校では、科学技術系人材の育成のため、独自のカリキュラムによる授業(スーパーサイエンス・科学英語入門・SSH情報等)や、大学・研究機関などとの連携(信州大学・セイコーエプソン等)、海外科学研修(アラスカ大学フェアバンクス校研修)、地域の特徴を生かした課題研究など様々な取り組みを積極的に行っています。昨年度は、SSHコースおよび科学系クラブの課題研究が、長野県学生科学賞で県知事賞1点、優良賞2点を受賞しました。

## 海外科学研修

毎年3月上旬、2年生スーパーサイエンス(SSH)コースの生徒がアメリカ合衆国アラスカ州フェアバンクスを4泊6日の日程で訪問しています。昨年度も現3年生28名が渡米して、アラスカ大学フェアバンクス校の先生方の地球物理学、アラスカの自然などの授業を英語で受講したほか、生徒代表が1年間取組んだ課題探究の成果を英語で発表しました。夜間は3日間にわたりオーロラの観測や極地課題研究に取組みました。



## 遺伝子操作実習など高大連携講座、セイコーエプソン等との連携講座



信州大学と連携して「遺伝子操作実習」を行います。本校で「オワンクラゲのGFP遺伝子の形質導入実験」を実施した後、大学で「大腸菌プラスミドのクローニングと制限酵素による切断」、「口内粘膜細胞DNAのPCR法による増幅」実習を受講します。参加生徒は、「興味関心を持ち、探究心をもって講義・実習に取り組めた」と答えています。その他、セイコーエプソンの協力を得て「分析化学実習」、東京大学木曽観測所の協力を得て「天文学実習」などの連携講座を開講しています。

## 地域の児童生徒の皆さんへ向けて「わくわく科学教室」など実施



毎年秋に開催されている諏訪市児童センター「センターまつり」に本校科学系クラブの生徒諸君が参加しています。昨年は会場の一角に諏訪清陵高等学校の発表ブースを2ヶ所設けさせていただいて、化学部、生物部の諸君が地域の小中学生やその保護者の皆さんに向けて、ポスター発表、展示発表、模擬実験発表を行いました。物理部の諸君は自ら製作した科学遊具を使って、ゲーム感覚で小中学生の科学的好奇心を喚起していました。それ以外にも近隣の高校生と清陵生と一緒に実習する講座(遺伝子操作体験実習等)を本校で開講しています。

## 課題探究と各種大会や学会への参加

SSHコースの2年生は一年間かけて課題探究を行い、2月に諏訪市文化センターで発表会を開いています。昨年度は、日本地球惑星科学連合大会などや学生科学賞に発表・応募し、学生科学賞では県知事賞を受賞しました。

## 卒業生の言葉

昨年度卒業生から清陵の思い出、大学の様子などを聞かせてもらいました。

### 進路

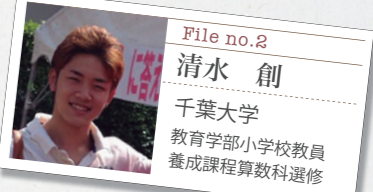


File no.1  
宮坂 優希  
筑波大学  
人文・文化学群  
比較文化学類

皆さんこんにちは。近頃つくばでは毎朝気温が30度を超え、エアコンがない私の寮の部屋で苦しみながら涼しい諏訪を恋しく思っています。ノルウェーの監獄よりひどいと言われるつくばの寮ですが、住めば都というのは本当で、夜中まで寮の友達と話したり一緒に料理したりと日々楽しく過ごしています。ただ、思い描いていたカレッジライフよりも多忙で図書館や24時間あいているパソコン室にこもってレポートを仕上げることもあります。授業は新しい発見ばかりで、周りの学生の頭の回転の速さや知識量に脱帽する毎日です。自分より頭がいい人と話すことはやはり刺激になりますし、何よりとても面白いです。こういうときに後輩にも無理をしてでも諦めず自分の学力より上の大学を目指してほしいと伝えたいです。さて、私は高校時代、音楽部と英語部に所属してコンクールやディベート大会に力を注いでいました。確かに勉強との両立に悩むこともありましたが、結果的に両方の部で全国大会出場を果たしたことが大学入試で強みになりました。二兎を追うものは三兎を得るのだと思います。

最近つくづく実感したことは、人生で無駄なことはないということです。例えば、入試のために勉強してきたことが本番で出なくても、そのあと大学のテストで同じ問題がでて命拾いをする事だってあります。今日詰め込み教育が否定されていますが私は詰め込んだ知識があとこそ応用的思考ができるのだと思っています。それと同じで、英語を話せない、と日本の高校の英語教育を非難する人もいますが、日本人が留学に少し行くだけで話せるようになるのは高校で習うような文法など土台がきちんとしているからだ証明されているそうです。つまり、こんな教科書の内容を暗記して何になるの、だとか外国行くのにこんな文法使わないよ、だとか言わずに、いずれ絶対に役に立つ日がくるのですから、今か今かと期待して高校の勉強に励んでほしいと思うのです。ちなみに私は職業に不要な学問ランキング第二位を見事勝ち取った宗教学を大学で本気で学ぶつもりです。

「努力はね、裏切らない神様だ。努力した分、必ずご利益がある神様だ。だけどその神様はのんびり屋で、ちょっと気まぐれだから、いつご利益があるかはわからない。だから神様を信じられなくなるときがある。でもちゃんと見てる。知ってる。」勉強でも部活でも、なにかにくじけそうになった時に私が思い出す言葉です。私も大学でがんばります。お互いがんばりましょう。



File no.2  
清水 創  
千葉大学  
教育学部小学校教員  
養成課程算数科選修

0.000000000000000006。何の数値がわかりますか?これは、日本に住んでいる人同士で誰かと誰かが出会う確率を示した数値です。人と人が出会う確率的には奇跡的なことなんですね。

どうも、千葉大学教育学部に進学しました、清水創です。元担任から至急で原稿頼むと電話を受け、寝起きから10分でペンを走らせているので内容の稀薄な文だとは思いますが、少しお付き合いください。

大学生生活をして早3ヶ月、1人暮らし、バイト、サークルにも慣れ充実した生活を送っています。大学では教育学部らしく教育事情や教科指導法などを学び、小学生の頃からの夢である「教師になる」を目標に頑張っています。

大学生生活中も清陵に思いを馳せることは多々あります。校友会、ハンドボール、バンド…清陵生活で学んだことは多いです。受験という経験も自分を大きくしてくれました。これから現役3年生は清陵祭が終われば受験に向けて本格的に進まなくてはなりません。私は自己推薦で入学しましたが受験には様々な方法があります。志望校に合格するために可能性があることは全て挑戦してみてください。挑戦する、ということが気持ち的にも大事だと思います。

最後に清陵生へ。校友会運営や部活等で様々な困難があるかと思っています。やりたいことは意味がないと思われることでも、何でもやってみてください。何でも理由、意味を求めず社会だからこそ、無意味なことに打ち込んでください。そうして自分で意味を見出したなら、それは自分にとって本当に意味のあるものになります。最初に書いた人が出会う確率。奇跡的な確率で清陵に集まった720余の清陵生。人との出会いを大切に、校友会も部活も遊びも勉強も全力で突っ走って下さい。後輩たちの活躍を期待しています。

## 3学年進路係より

来年度入試から、理科・数学での新課程先行実施に伴い、センター試験の内容が新しくなります。特に理科の負担が増しますので、全国的にも2~3ヶ月前倒しで進路指導が進んでいるようです。本校も、本学年では昨年の11月頃から、「今日から受験生」と喚起し、年度末には総復習と基礎固めを呼びかけ、各教科でも先を見据えた授業展開、補習計画をたてて指導を進めています。

5月に行われた進路希望調査では、第1希望で見ると、未定・未提出を除き、国公立大206名、私立大学25名、公務員1名となっています。大学学部別では、人文系21名、社会科学系35名、語学・国際系8名、教育28名、理工系63名、農林水産・畜産・生命・環境系23名、医学12名、薬学6名、歯学1名、保健・看護・医療技術系27名、芸術1名、食物・家政系5名でした。また、希望大学は東大・京大を含む旧帝大クラスが30名、続く難関国公立に81名、

信大を含む中堅国公立に92名(うち、信大60名)と志は高く、私立大学でも、早慶上智クラスが9名、MARCHクラスが7名でした。この時期の第1志望が全員実現されれば本当に素晴らしいことですが、志は高い方がよい。可能性を追求し、とことん頑張りたいと願っています。

この稿を起こしている現在、校内は清陵祭へ向けての追い込みで盛り上がっています。しかし、そんな中でも授業中、志の高い生徒たちの眼差しはますます真剣です(残念ながら、心ここにあらずの生徒も増えていますが)。清陵祭が終わっても、一部運動部の上位大会への出場や音楽系クラブのコンクール、文化系クラブの総文祭などでの発表等、まだやるべきことが残っている3年生もいます。ここまで、両立に苦しんできたわけですから、しっかり最後までやり切りたい。そして受験も、目標を定められることなく、最後までやり切ってくれるものと期待します。